

## 平成 30 年度第 2 回茂原市子ども・子育て審議会 会議録

日時	平成 30 年 11 月 19 日 (月) 14 : 00 ~ 15 : 45
会場	茂原市役所 502 会議室
出席委員	中山会長、濱田副会長、杉木委員、齊田委員、村上委員、篠田委員、秋山委員、渡邊委員、佐野委員、平井委員、小枝委員、河野委員、鬼島委員、萱原委員、田丸委員、荒谷委員
関係課 事務局	久我教育部長、斎藤教育部次長兼教育総務課長、村澤学校教育課長 岩瀬福祉部長、関屋福祉部次長兼社会福祉課長、中村子育て支援課長、佐久間主幹、齊藤課長補佐、時田主事
株式会社ワイズマンコンサルティング	吉元氏
傍聴者	9 人
配布資料	・資料 1 (仮称) 南部・北部認定こども園 再募集の概要 (案) について ・資料 2 第 2 期茂原市子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査について

### 会議次第

- 1 開 会
- 2 会長挨拶
- 3 議事
  - (1) (仮称) 南部・北部認定こども園 再募集の概要 (案) について
  - (2) 第 2 期茂原市子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査について
  - (3) その他
- 4 閉会

### 会長挨拶

皆様こんにちは。暑い夏も過ぎ、今年は大きな災害に遭われた地域もありましたが、幸いにして茂原市は無事でした。現在はすっかり朝や夕方は冬になってきたと実感しております。

茂原市の子どもたちがこの先、安心して日々を過ごせるようにするため、我々が出席しているこの審議会は、非常に重要なものだと思います。

前回の審議会は平成 30 年 7 月 11 日でした。一番大きな議事として、平成 30 年 2 月から 4 月に募集を行った、(仮称) 南部・北部認定こども園の運営事業者募集において、事業者が手を挙げなかったということでした。そのため、再募集にあたり、新たに対策を練る必要があります。本日は、その内容も含めた 2 点の議事内容を検討していくわけです。委員

の皆様、本日の審議会も忌憚のないご意見をお願いします。

## 議事

### (1) (仮称) 南部・北部認定こども園 再募集の概要(案)について

<事務局から、資料1に基づき説明>

#### 事務局

「公立保育所・幼稚園整備計画」につきましては、過去にこの審議会で委員の皆様にご議論いただき、平成28年8月に策定いたしました。教育・保育へのニーズの多様化、既存施設の老朽化、また人口分布の変化等による需給バランスの不均衡の課題に対応するため、この計画に基づき、今年2月から4月にかけて(仮称)南部・北部認定こども園の設置・運営をする事業者を募集いたしました。事業者からの応募がなかったため、募集要項を見直し、再募集いたします。

北部認定こども園の整備につきましては、平成30年3月に新治保育所を本納保育所に統合いたしました。この区域では現在、本納保育所と豊岡幼稚園の2か所の施設で事業を行っておりますが、この2園を統廃合して平成33年4月に北部認定こども園の開設を目指してまいります。事業概要といたしましては、前回の募集要項同様に本納保育所を活用することとし、定員の設定を見直すとともに事業者負担を軽減するために必要な整備を行ってまいります。募集要項は市ウェブサイトにて公表いたします。申請の受付期間は、平成31年1月15日から3月15日といたします。

南部認定こども園の整備につきましては、再募集にあたり、他の自治体の募集状況や事業者の意見を踏まえた結果、用地の確保が必要となることから、現在は市有地の活用を基本に検討しております。再募集の時期につきましては、平成32年1月から3月を目標に計画しております。開設にあたり、平成31年3月に中の島幼稚園を閉園、平成33年3月には中の島保育所・中の島幼稚園・五郷保育所・五郷幼稚園の統廃合を行う予定となっております。

南部・北部ともに、類型を「公私連携幼保連携型認定こども園」といたします。公私連携とは、市と事業者とが協定を結び、市有地や施設の貸し付け・譲渡などを行い、ともに事業を進めていく公的な制度となります。

現在、北部認定こども園につきましては、本納保育所を活用し、現施設の無償譲渡を考慮しておりますが、不足する分の建物や土地は事業者が整備していただきます。また、前回の募集要項では、土地の無償貸付期間を10年間としていましたが、再募集にあたり期間を15年間へ延長いたします。定員の設定につきましては、平成31年度の保育所の申し込み状況を踏まえて決定いたしますが、現在170～180人を想定しております。統廃合予定の本納保育所と豊岡幼稚園の現在の利用者は、合計167名となっております。応募資格につきましては、認可保育所・幼稚園・認定こども園の運営実績がある法人といたします。補助制度につきましては、国・県の交付要綱に基づき行います。事業者の募集受付期間は平成31

年1月15日から3月15日とし、選考は書類選考・プレゼンテーション・ヒアリング等を行います。開設は平成33年4月1日を予定しております。その他詳細につきましては、これから公表する募集要項に記載いたします。

南部認定こども園につきましては、場所を中の島保育所、五郷保育所の中間点から概ね1.5km以内の市有地の活用を検討しております。建物は、要項に基づき事業者を整備していただきます。土地は15年の無償貸付とし、定員につきましては、平成32年度の保育所の申し込み状況を踏まえて決定いたしますが、現在200名以上を想定しております。統廃合予定の施設の現況といたしましては、中の島保育所・中の島幼稚園・五郷保育所・五郷幼稚園で利用者が合計210名おります。事業者の募集受付期間は平成32年1月から3月とし、開設は平成34年4月1日を予定しております。

#### 委員

北部認定こども園は本納保育所を活用することですが、施設整備にあたり、建物の工事中は本納保育所に通っている児童の居場所はどのように確保するのでしょうか。

#### 事務局

本納保育所の定員は現在150名となっております。定員の不足分の施設は、事業者を整備していただきますが、保育を行いながら増築をしていくこととなりますので、まず増築部分を建設し、随時増築した教室に児童の移動を行いながら、既存施設の改修を行ってまいります。その際には、危険のないよう最大限の配慮をして整備をまいります。

#### 委員

運営事業者の募集方法ですが、茂原市ウェブサイトの公表のみなのでしょうか。また、応募資格について、学校法人及び社会福祉法人で、認可保育所・幼稚園・認定こども園の運営実績がある者となっておりますが、例として介護施設を運営している社会福祉法人が新たな事業として認定こども園の運営を検討している場合があるとします。そういった法人も対象とする案はどうでしょうか。

#### 事務局

茂原市ウェブサイトの公表だけでなく、県内外の事業者によく周知を行ってまいりました。その結果、前向きな返事をいただいている法人もあります。今後も事業者への積極的な周知に努めてまいります。

応募資格につきましては、公立施設の統廃合を行い、その受け皿として認定こども園を整備することや利用する保護者の皆さまの視点に立ち、実績のある学校法人と社会福祉法人といたしました。

委員

土地の無償貸付期間を 10 年間から 15 年間に延長をしたのは何故でしょうか。

事務局

茂原市と同様に、土地・建物の貸付を行い施設の運営事業者を募集している他自治体の状況を参考に事業者負担を軽減させるために、延長いたしました。15 年間としたのは、(仮称) 南部・北部認定こども園の運営協定期間と合わせております。

委員

応募資格の条件が厳しいと感じます。もう少し緩和できないものでしょうか。

事務局

応募資格につきましては、「公立保育所・幼稚園整備計画」において、南部・北部認定こども園の類型を「幼保連携型」とすることと定めており、その運営資格は、学校法人または社会福祉法人、もしくは自治体となっております。

また、統廃合する施設は全て公立の施設となりますので、現在その施設を利用しており、統廃合後に引き続き開設した認定こども園を利用する方への安心面や、募集規模を勘案すると、運営実績のない法人が運営するにはハードルが高いと判断したため、応募資格はそのようにいたしました。

委員

私も募集の条件が厳しいのではないかと感じます。土地の無償貸与を 15 年間に延長とのことですが、その後有償となることについての詳細を確認させていただきたい。

また、地域のニーズがどれほどあるのか判断ができないため、定員設定が難しいと考えております。その他に、子ども・子育て支援事業では、一時預かり事業や地域子育て支援拠点事業の実施において、保育士等の配置の関係で、新たに保育士等の採用が必要となる場合があります、応募条件のハードルが高いと感じます。

茂原市としては、公立保育所・幼稚園の統廃合をして民間に移管することで、将来的に事業費が削減できると思います。その予算を子育て関係の市政に充てる、もしくは今回の募集要項の改善をすることはできないのでしょうか。調べてみると、保育所等の新規運営事業者の募集にあたり、独自の補助金を交付している自治体もあるようです。そういった自治体と比較しますと、今回の再募集の条件はあまり良いとは言えないと思いました。

事務局

15 年後以降に有償となる土地の費用につきましては、現時点での見積もりでは年間 70 万円前後となります。保育所の評価額は特段高くはないという判断であり、運営事業者の

負担としては少ないと思われます。

定員の設定につきましては、平成 31 年度の保育所の入所申し込み状況や、今回の審議会  
の二つ目の議事での平成 30 年 12 月に実施する「第 2 期茂原市子ども・子育て支援事業計  
画策定に係るニーズ調査」において、影響が大きいと思われる「幼児教育・保育の無償化」  
の関係の設問もありますので、その結果も踏まえたうえで事業者と協議して決定してい  
きたいと考えております。

地域子ども・子育て支援事業の一時預かり事業につきましては、幼稚園型の一時預かり  
事業を想定しております。現在、公立の朝日の森保育所で実施している余裕活用型の一時  
預かり事業の利用はそれほど多くはないと感じておりますが、今後は幼稚園型以外の類  
型も検討していきたいと考えております。また、地域子育て支援拠点事業は高師保育園  
などが実施しておりますが、利用者の評判が良く、需要が高いため、事業者の負担に  
なると思われませんが、ぜひ実施をしていただきたいと考えております。

認定こども園の整備にあたり、市独自の補助は、現在検討しておりませんが、事業者  
の負担軽減のために既存の本納保育所を可能な限り整備したうえで事業者に引き渡  
したいと考えております。主に屋上の防水工事、トイレの改修、駐車場の拡幅工事、  
エアコンの設置を検討しております。また、来年度は全ての公立保育所の部屋にエ  
アコンが完備できる見込みです。

#### 委員

私立幼稚園代表として出席させていただいております。

前回の募集では、私立幼稚園を運営する立場として、茂原市に協力することができず  
申し訳なかったという気持ちがあります。

また、公立施設の統廃合について、対象施設の児童の減少が続いているので、ぜひ  
実施するべきというのが私立幼稚園の意見です。茂原市が運営するべきだという  
意見もありますが、茂原市の財政面等でも、民間に運営を委託することでのメリ  
ットもあります。全国的にみても委託しているケースが多いので、茂原市のこの  
判断は正しいと思っております。また、「幼児教育・保育の無償化」の話題が  
出てきていますが、現時点で不明確な部分が多く、運営する立場としても  
将来的にどのように対応していけば良いか分かりませんが、我々も今後、  
より一層頑張っていかななくてはならないと、幼稚園協会でも話し合っ  
ております。

(仮称) 南部・北部認定こども園整備事業ですが、ぜひ実施していただき、  
開設後も利用者からの意見等を募り、定期的に運営についてこの審議会  
で議論していきたいと思えます。

#### 委員

今回の募集要項で変更された点が、前回に運営事業者の応募がなかつた理由  
とお考えでしょうか。

事務局

今回の変更点のみではなく、前回の募集要項では全体的に事業者の負担が大きかったと考えております。

委員

南部認定こども園についてですが、土地の確保の目処はついているのでしょうか。

事務局

現在の検討状況として立地的に良いと考えているのは、五郷保育所の敷地です。隣接して五郷小学校や五郷幼稚園があり、様々な連携が図れることや、いずれ閉園となる五郷幼稚園の活用が可能なことなど、多くの利点があります。現在活用に向けた詳細について調整のため、再募集の時期は平成 32 年 1 月から 3 月になる予定です。

委員

2 か所の認定こども園の開設を同時期に実施することは大変困難なことだと思います。仮に次回の再募集で運営事業者の応募がない場合は、再々募集をするのでしょうか。

事務局

現在、再募集に向けて事業者への周知に努めておりますが、万が一、応募がない場合は公立で運営をすることも検討いたします。

委員

募集の条件が厳しく、事業者の採算が合わないため応募がないと思われます。例えば土地や建物を永久に無償貸与する等、事業者が好条件と感じる募集内容を検討してはどうでしょうか。

事務局

この事業につきましては、「公立保育所・幼稚園整備計画」や「茂原市第 6 次 3 か年実施計画」に基づき実施しているため、定められた予算の範囲内で募集内容の検討をしなくてはなりません。現在の条件で興味を示していただいている事業者もおりますので、今後もより多くの事業者から応募をしていただけるように努めていきたいと考えております。

副会長

審議会委員、事務局の皆様が吟味を重ねて策定した本計画が順調に進むようお願いしております。

## (2) 第2期茂原市子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査について

<事務局から、資料2に基づき説明>

事務局

「第1期茂原市子ども・子育て支援事業計画」につきましては、平成27年度から31年度の5か年を計画期間としており、昨年の12月に中間年の見直しによる改定をいたしました。

この度、平成32年度を始期とする第2期計画の策定にあたり、子育てに関する需要量の見込みを算出するため市内の子育て世帯を対象に、国の手引きに基づく設問42問、茂原市独自の設問16問で構成された総設問数58問のアンケート調査を実施いたします。なお、回答者によって設問内容は異なりますので、回答設問数は概ね45問となる見込みです。小学3年生までの児童2,000人を対象といたしまして、施設利用者は施設を通して、施設を利用していない方には郵送にて配布いたします。施設を通すことで回収率の向上や経費の削減に繋がるものと考えております。調査票につきましては、今年の12月上旬に配布・下旬に回収する予定となっております。

会長

本調査の委託業者である「ワイズマンコンサルティング さいたま支店」では、他の自治体において同調査の実績はございますか。

ワイズマンコンサルティング

第1期計画策定の際の調査実績や、現在の第2期計画策定の委託要望も多数あり、千葉県内では現時点で4件ございます。

委員

「幼児教育・保育の無償化」について細かい説明を記載するべきではないでしょうか。

事務局

設問の表現につきましては、今後検討させていただきます。

委員

問15・17・18の子育てに関する事業の利用についてですが、ファミリー・サポート・センター事業、夜間養護等事業、短期入所生活援助事業は茂原市では提供していない事業のため、選択肢に設ける必要があるのか検討していただきたい。また、問18-1の病児保育についての設問ですが、市内の宮本内科医院を想定して、利用前にかかりつけ医の受診が必要と記載がされているのだと思われそうですが、白子町の酒井医院では、受診の必要はありませんので設問の表現を工夫するべきだと思います。

#### 事務局

問 15・17・18 につきまして、茂原市で提供していない事業を選択肢から削除することは可能ですが、市外での利用のケースを想定していたこと、また、ファミリー・サポート・センター事業と同様の内容の事業を行っている民間の事業者もおりますので、それらを踏まえて掲載しておりますが、改めて検討いたします。

問 18-1 の病児保育についての設問につきましても、表現を検討いたします。

#### 委員

「幼児教育・保育の無償化」について、メディア等で限度額の報道はされていますが、制度の細かい部分はまだ確定しておらず、不明確な部分が多い状況です。保育料がかからなくなることで保護者が働かなくなるケースなど、家庭の状況が変わる場合があると思いますので、運営事業者である我々としても、今回のニーズ調査はぜひ実施していただきたいと考えております。

#### 委員

調査票の配布について、例えば兄弟のお子様がいるご家庭には、複数の調査票が配布されるケースがあると思います。その場合、調査票の回答が重複してしまうことになり、正確なニーズが把握できなくなるのではないのでしょうか。

#### 事務局

お子様の宛名で配布する調査票のため、そのような場合でも複数回答していただきますが、地域性も重視しながら可能な限りそういったことがないように配慮して配布いたします。

#### 委員

重複して配布してしまう場合があることについて、冒頭のページに注意書等を追記してはどうでしょうか。

#### 事務局

その方向で検討いたします。

#### 委員

問 19 の選択肢にある、児童センター、放課後こども教室、学童クラブの 3 つの事業を混同されているご家庭が多い印象を受けます。放課後こども教室は注意書きがありますが、児童センターについて具体的な説明をお願いいたします。

事務局

1 ページ目に教育・保育サービスの内容について、いくつか説明欄を設けてあり、その中に児童センターについての項目も設けてあります。

委員

問 25 の公的制度の利用に関する設問について、「特別児童利用手当」や「児童発達支援事業」を利用されている方もおりますので、選択肢に追加してはどうでしょうか。

問 27 の子育て情報に関する設問について、千葉県や市町村からの支援情報の提供や育児の相談受付ができる「ちば My Style Diary」という子育て支援に関するスマートフォンアプリがありますので、選択肢に追加してはどうでしょうか。

事務局

問 25 につきましては、福祉制度の事業はこの他にも多数ありますので、選択肢の追加は難しいと考えますが、改めて検討いたします。

問 27 につきましては、追加する方向で検討いたします。

委員

茂原市に要望書が提出されていると思いますが、問 31 について、産後ケア関係の選択肢を追加してはどうでしょうか。

事務局

保健センターとも協議を行い検討いたします。

委員

調査票の総設問数が多く、一部内容が分かりにくいと感じる部分もありますが、市民のニーズを把握できる本調査はぜひ実施していただき、より良い計画の策定に繋げていただきたいと思います。

### (3) その他

会長

皆様から何かご意見等ありますでしょうか。

事務局

議事 1 により説明いたしました、(仮称) 南部・北部認定こども園の再募集にあたり、この事業の基となる「公立保育所・幼稚園整備計画」を一部改定する必要があります。開設

時期の訂正や資料1のフロー図の追加等、計画書全体を見直すものではございませんので、本審議会でご審議いただき、一部改定をさせていただきたいと考えております。その点につきまして、ご意見をお願いいたします。

会長

委員の皆様、改訂の件についてご意見等はございますか。

<意見なし>

会長

皆様のご協力により、以上で本日の審議会を閉会いたします。

ありがとうございました。

事務局

本日の審議会でご了承をいただきましたので、(仮称)南部・北部認定こども園の再募集にあたり、茂原市ウェブサイトにて平成30年12月20日付で募集要項を公表いたします。また、合わせて「公立保育所・幼稚園整備計画」を一部改定させていただきます。

本日も皆様には貴重なご審議をしていただきまして、ありがとうございました。以上で審議会を閉会いたします。

15:45 終了

以上